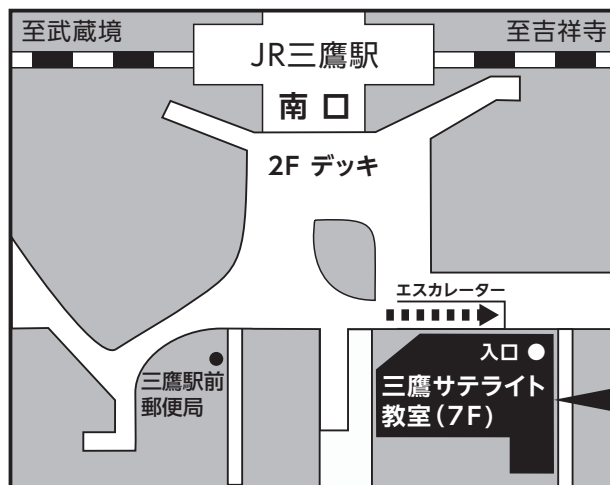


禅語録を読む 寒山詩 その一

受講料 (振込額)	12,500円			
必携テキスト	_____			
講座概要	曜 日	木曜日		日 程
	時 間	13:00～14:30		10月12・26日
	回 数	全5回	定 員	40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室		11月9日 12月7・21日
講 師	元本学非常勤講師 駒澤大学禅研究所研究員 須山 長治 (すやま ちょうじ)			
	元本学非常勤講師・駒澤大学禅研究所研究員 早稲田大学大学院文学研究科東洋哲学専攻博士後期課程単位修得満期退学。文学修士。			
内 容	『寒山詩』は典型的な隠者文学だろうと思って読むと、肩透かしを食らう。 隠者とは俗世間から離れて山野などにひっそりと隠れ住み、およそ我々の悩みなどとは無縁な世界にいる者のことである。ところが、寒山は過去にこだわり、故郷を夢に見る。愁え多く多感。ときには憔悴し、またこれでいいのかと自分を責めたりもする。 あの絵画で見るような洒脱軽妙のにこやかなところや神秘的なところなどどこをさがしても見当たらない。 現代に伝わる三百十数編の作品に共通するのは、只一つ寒山の「人間臭さ」であり、部立を設けて分類するのも難しい。ここに取り上げた作品も一つ一つ別々なもので作品ごとに味わう必要がある。			
	①10月12日 ②10月26日 ③11月 9日 ④12月 7日 ⑤12月21日			
	詩体は、ほぼ五言の樂府に近い古詩。作品は選択するが、一回に二首か三首。それぞれ出典を交えて解説する。			



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。